



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754

伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <https://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第464号

2020年7月20日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

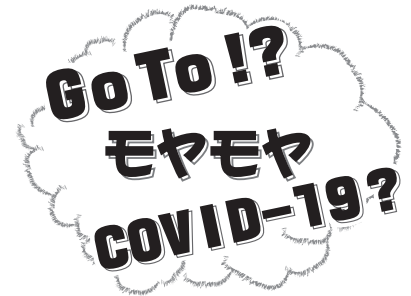
東京都をはじめ全国で感染者が急速に拡大

東京で猛威を振るっている新型コロナウイルス。東京への通勤圏内にある八千代市でも7月に入って6例の感染者が報告されています。(7月18日現在)

八千代市は3月下旬から5月上旬までの間に15例の感染者の発表を行いました。約2ヶ月後の7月に再び感染者が現れました。多くの市民から再び不安な声が日本共産党の元に届いています。

「やっと給付金や支援金の手続きが終わったのに、第2波ですか？」
「感染者の地域わかりますか？」「保育園や学校は大丈夫なの？」など
様々な声があります。

しかし、このような状況下で今週から「Go Toトラベル」キャンペーンが、東京を除いて行われようとしています。



「Go Toトラベル」を見送るべき69%に

毎日新聞と社会調査研究センターが7月18日に発表した「Go Toトラベル」の世論調査では、「東京以外も見送るべきだ」が69%に上ったということです。当初「新型コロナウイルスが収束してから実施する予定」だったはずですが、「感染拡大に繋がる」「地方から来ないで」との声も上がっています。

今、東京以外でも感染が広がっており、こういうもとでの実施は感染拡大を促進する暴挙というほかありません。「Go Toトラベル」は開始見送りをきっぱり決断すべきです。

日本共産党は、観光業支援というなら、旅館などの観光業者を直接支援する方向に予算を振り向けるべきと訴えています。

医療・検査体制など「第2波」に備えた抜本的な対策を

これまで日本共産党八千代市議団は4度にわたって、市長へ新型コロナウイルスに関する要望書を提出し、中小企業経営支援の拡充、防災倉庫へのマスク等の備蓄など実現させてきました。

さらに、第2波に対する対策強化として日本共産党千葉県委員会は、県内の地方議員と共に7月16日、厚生労働省に新型コロナウイルス対策強化の要望書を提出しました。特に「第2波」や冬期の感染拡大期に備えた医療体制、検査体制を抜本的に強化することを訴えました。

八千代市では東京女子医大医療センターがありますが、コロナウイルスの受け入れ体制は公表されていません。

市民の安心・安全のためにも最低限の情報公開は必要と強く訴えます。